

公益財団法人平野政吉美術財団

平成30年度 事業実施計画

I 展示公開事業

II 教育普及事業

III 調査研究事業

IV 美術ホール運営事業

V 売店事業

平成30年4月1日～平成31年3月31日

<基本方針>

本年度は、昨年度50周年を迎えた財団が、新しい半世紀への第一歩を踏み出す年となることから、平野政吉コレクションの調査・研究の一層の充実を図り、また新しい基本財産の調査・研究にも力を注ぎ、それらの成果を企画展に生かす。また、はじめて取り組む秋田市立千秋美術館との連携事業を成功させる。

<重点事業>

- ・藤田嗣治の最初の妻・鶴田とみの遺族から、藤田作品および藤田書簡等の資料が、昨年度、財団に寄贈され基本財産となった。美術史の第一級資料であるそれらの基本財産が永続的に保存されるよう配慮するとともに、詳細な調査にも取り組む。
- ・平野政吉コレクションに関する調査と研究を踏まえ、県民をはじめ広く世界に平野政吉コレクションの意義を発信する。
- ・展示公開事業は、藤田作品に焦点を当てた常設展を開催。企画展としては、秋田県立近代美術館と秋田市立千秋美術館の協力を得て、洋画、日本画、彫刻、工芸等の作品を「夜」をテーマに展覧する展覧会と、秋田市ゆかりの作家ふたりによるガラス工芸の展覧会を開催する。ガラスの光と音が共鳴するこの展覧会は、全国的にもほとんど例のない斬新な企画である。
- ・特別展は3本開催するが、なかでも秋田市立千秋美術館とともに実行委員会を組む千住博展は、リニューアルされた県民ギャラリーを使用して大規模に開催されることから、美術館利用促進事業と位置づけられている。その他、夏休みに合わせて絵本展、冬期間には、西洋美術に与えた影響が近年再評価されている浮世絵の展覧会を開催する。
- ・教育普及事業としては、美術作家による専門的美術講座、講演会、美術館教室やワークショップ、ギャラリートーク、コンサート、出前授業等のイベントを実施し、県民に親しまれる美術館を目指す。
- ・壁画《秋田の行事》については、月一回の定例ギャラリートークを実施する。県民が壁画のテーマとなった「秋田」についても理解を深めることができるように、わかりやすい解説を行う。
- ・学校と連携し、美術館における幼児、児童、生徒、大学生の学習の充実に務める。
- ・セカンドスクール対応時には、児童・生徒向けワークシートを役立てる他、学年に応じたデスクリプションなどを実施し、作品に向き合う姿勢を涵養する。また、壁画解説とともに体験的な学習を盛り込むこととする。
- ・セルフガイドの作成、わかりやすい解説など、よりよい鑑賞の実現に取り組む。
- ・美術館教室、ワークショップ、セカンドスクールの利用に対応するスタッフを、教育普及員として育成する。
- ・展示作品について研修し、他の美術館の教育普及の取り組みなどの情報を収集し、美術館スタッフの資質向上に努める。

<貸しホール事業>

- ・県民の創作活動発表の場である美術ホール（県民ギャラリー）は、ホールの特性を生かした利用促進を図る。特別展「千住博展」では、展示室と一体的に使用することで、大規模な展覧を実現する。

I 展示公開事業

<1> 常設展示事業

平野政吉コレクションの核である藤田嗣治作品を展覧し、1930年代の藤田の画業を紹介する。

常設展 平野政吉コレクションⅠ

1 会 期 平成30年4月7日(土)～平成30年7月8日(日)

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

藤田嗣治の中南米や中国への旅をテーマにした作品および資料を展覧する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《カーナバルの後》、《町芸人》、《北平の力士》、中南米の収集品

常設展 平野政吉コレクションⅡ

1 会 期 平成30年7月14日(土)～平成30年9月17日(月)

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

藤田嗣治が描いた裸婦像と着衣の女性像を展示。あわせて、平成29年度に鶴田家より寄贈された作品・資料の一部を紹介する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《眠れる女》、《五人女》、《マドレーヌ(花をまく)》、《女》、

常設展 平野政吉コレクションⅢ

1 会 期 平成30年9月22日(土)～平成31年1月7日(月)

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

藤田嗣治の画室の絵を中心に展示し、描かれた藤田の愛蔵品も紹介する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《吾が画室》、《北平の力士》、《北京の素描》、《客人》

常設展 平野政吉コレクションⅣ

1 会 期 平成31年1月12日(土)～平成31年3月21日(木)

2 会 場 大壁画ギャラリー

3 趣旨

藤田嗣治の自画像を中心に、日本滞在期の作品を展示する。

4 主な展示作品

藤田嗣治 《自画像》、《私の画室》、《ちんどん屋三人組》、《角力》

<2> 企画展示事業

平野政吉美術財団所蔵作品、または県内の美術館の所蔵作品、県内在住作家の成果を生かした展覧会を開催する。

企画展 夜と美術

1会 期 平成30年4月7日(土)～平成30年7月8日(日)

2会 場 ギャラリー1・2

3趣旨

夜は、太陽が地平線や水平線の下に沈んでいる時間帯である。古来より、月夜、星空、夜の静寂、夜のざわめき、闇の中の明かりなど、夜のイメージは絵画や音楽のテーマとして取り上げられてきた。本展では、夜の風景、夜の祭や人の暮らし、夜の天空を描いた絵画、冬の夜を撮影した写真、月を主題にした彫刻など、夜の造形を展示する。

4主な展示作品

佐々木裕久《鳥偲考一韻》 鏑木清方《秋の夜》(以上、秋田県立近代美術館蔵)

三浦明範《再生一月》 館岡栗山《かまくら》(以上、秋田市立千秋美術館蔵)

笠原幸夫《舞い降りる月》 菅原綾希子《朧(おぼろ)》 浅野壽里《ほ乳類》 草薊裕《SNOW.27》

企画展 光 resonance 音—共鳴する光と音—

1会 期 平成30年11月10日(土)～平成31年1月7日(月)

2会 場 ギャラリー1・2

3趣旨

秋田市を拠点に活動する小牟禮尊人と、秋田市出身の本郷仁。二人のガラス作家による展覧会を開催する。小牟禮は富山ガラス造形研究所で研鑽を積み、現在は秋田公立美術大学教授。新設された秋田市新屋ガラス工房も率いている。「永遠の命」を持つガラスに魅了されたという小牟禮は、本展において「音」「聞くこと」をテーマに音の世界に挑戦する。一方、本郷は、ガラス工芸を生み出した先人たちの知恵と、造形素材としてのガラスの可能性に魅せられたという。現在、富山ガラス造形研究所主任教授として「光」「見ること」をテーマに制作し、大型のオブジェ作品にも取り組んでいる。二人の作品により、ガラスを介して共鳴する光と音の空間を創出する。

4主な展示作品

小牟禮尊人《光の柱》

本郷仁《外のうちと内のそと》

<3>特別展示事業

美術の動向や時代の状況を踏まえてテーマを設定し、他館からの借用作品を中心に構成した展覧会を開催する。

特別展 ビアトリクス・ポター生誕150周年記念 ピーターラビットの世界展

1会 期 平成30年7月14日(土)～平成30年9月17日(月)

2会 場 ギャラリー1・2

3趣旨

ピーターラビットシリーズは作者ビアトリクス・ポター(1866-1943)が知人の息子に送った「絵手紙」から誕生した物語。1902年、『ピーターラビットのおはなし』としてウォーン社から出版。のちに24作の絵本が発行される。この展覧会では、ポターが生涯愛し、ピーターラビットたちが活躍した湖水地方の魅力を背景に、彼女とピーターラビットにまつわるさまざまなエピソードを、貴重な資料などを交えて紹介する。

4主な展示作品・資料

初版本『ピーターラビットのおはなし』

絵手紙・私家版レプリカ ピーターラビットに関する各種記念本

湖水地方写真展示

プロジェクションマッピング展示 ジオラマ展示

特別展 高野山金剛峯寺襖絵完成記念

千住博展—日本の美を極め、世界の美を拓く—

1 会 期 平成30年9月22日(土)～平成30年11月4日(日)

2 会 場 県民ギャラリー、ギャラリー1・2

3 趣旨

日本画の新たな可能性に挑戦し続ける画家・千住博の展覧会を、秋田市立千秋美術館と共同で開催する。当館では、千住の主要なモチーフである滝を描いた現代アートと、水にまつわる伝承のある神社の仏像を展示する。あわせて、千住の初期から近年までの各時代を代表する作品を展覧し、千住の40余年の画業を概観する。

4 主な展示作品

千住博《龍神2》(軽井沢千住博美術館蔵) 秋田県大仙市小沼神社 仏像2体

特別展 歌川広重 二つの東海道五拾三次 保永堂版と丸清版

1 会 期 平成31年1月12日(土)～平成31年3月21日(木)

2 会 場 ギャラリー1・2

3 趣旨

歌川広重(1799-1858)の代表作、東海道五拾三次シリーズのなかから、1834年に出版された「保永堂版」と、その15年後に出版された「丸清版」を展示する。この二つの東海道五拾三次は、同じ宿場を描いているにもかかわらず、構図が異なり、また出版元の意向や経済状況など、時代の雰囲気の色濃く反映されている。歌川広重の豊かな構想力と、彫師、刷り師など職人の技術を結集した、浮世絵の魅力を紹介する。

4 主な展示作品

歌川広重『保永堂版 東海道五拾三次』より

《江戸出立 日本橋 朝之景》、《一〇 箱根宿 湖水図》、《京都到着 三条大橋》

『丸清版 東海道五拾三次』より

《江戸出立 日本橋》、《一〇 箱根宿》、《京都到着 三条大橋》

II 教育普及事業

美術館に親しみ、美術への理解を深めてもらうため、さまざまな年齢層、多様な立場の方を対象にした講演会、美術館教室、ワークショップ、ギャラリートークなどを実施する。

(1) 専門的美術講座

事業名 専門的美術講座「人形作家の軌跡(仮)」

講師 四谷シモン

実施日 平成30年10月(予定)

対象 一般

会場 ミュージアムラウンジ

(2) 講演会

事業名 講演会「世界のなかの浮世絵(仮)」

講師 志邨匠子(秋田公立美術大学 教授)

実施日 平成31年2月下旬(予定)

対象 未定

会場 未定

(3) 美術館教室

事業名 美術館教室「1930年代の国際映画～原節子と仙北歌謡団～」
講師 原田久美子(当財団学芸課長)
実施日 平成30年12月上旬(予定)
対象 一般
会場 レクチャールーム

(4) ワークショップ

事業名 ワークショップ「闇夜の音を描く」
実施日 平成30年6月10日(日)
講師 浅野壽里
対象 一般
会場 レクチャールーム

事業名 ワークショップ「フェルトのウサギをつくろう(仮)」
実施日 平成30年7月(予定)
講師 美術館スタッフ
対象 小・中学生
会場 レクチャールーム

事業名 ワークショップ「ガラスを楽しむ(仮)」
実施日 平成30年11月(予定)
講師 小牟禮尊人(秋田公立美術大学教授)
対象 中学生以上一般
会場 未定

(5) 特別展関連講演会

事業名 千住博展講演会
講師 千住博(日本画家)
実施日 平成30年9月22日(土)
対象 一般
会場 さきがけホール(予定)

(6) 特別展関連トークショー

事業名 トークショー「ピーターラビットの世界(仮)」
講師 未定
実施日 平成30年8月上旬(予定)
対象 中学生以上一般
会場 ミュージアムラウンジ

事業名 トークショー「江戸時代の旅と暮らし(仮)」
講師 未定
実施日 平成30年1月下旬(予定)
対象 一般
会場 県民ギャラリー

(7) ギャラリートーク

企画展 「夜と美術」

実施日 平成30年4月21日(土)、6月16日(土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

企画展 「夜と美術」

実施日 5月19日(土)、

講師 鈴木京(秋田県立近代美術館学芸主事)

会場 ギャラリー1・2

特別展 「ビアトリクス・ポター生誕150周年記念 ピーターラビットの世界展」

実施日 平成30年7月21日(土)、8月5日(日)、8月18日(土)、9月15日(土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

特別展 「高野山金剛峯寺 襖絵完成記念 千住博展—日本の美を極め、世界の美を拓く—」

実施日 平成30年9月29日(土)、10月20日(土) (予定)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

企画展 「光 resonance 音—共鳴する光と音—」

実施日 平成30年11月17日(土)、12月15日(土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

特別展 「歌川広重 二つの東海道五拾三次 保永堂版と丸清版」

実施日 平成31年1月19日(土)、2月9日(土)、2月23日(土)、3月16日(土)

講師 学芸員

会場 ギャラリー1・2

定例ギャラリートーク《秋田の行事》を読み解く

実施日 毎月第1土曜日 竿燈期間中—平成30年8月3日(金)、8月4日(土)、8月6日(月)

講師 教育普及員・解説員

会場 大壁画ギャラリー

(8) ミュージアムコンサート

事業名 「オカリナコンサート(仮)」

出演者 伊藤可奈子

実施日 平成30年10月(予定)

会場 ミュージアムラウンジ(予定)

(9) エリアなかいち関連イベント

事業名 「メッセージカードをつくろう(仮)」

実施日 平成31年2月

講師 美術館スタッフ

会場 にぎわい交流館 a u

- (10) 出前講座
事業名 「壁画《秋田の行事》からのメッセージ」
実施日 未定
講師 学芸員
対象 未定
会場 未定

Ⅲ調査研究事業

平野政吉コレクションと《秋田の行事》をはじめとする藤田嗣治の作品を調査研究し、その成果を公表する。

Ⅳ美術ホール（県民ギャラリー）運営事業

事業内容

- 1 絵画、デザイン、彫刻、書道、写真、児童・生徒作品等、美術ホール（県民ギャラリー）で展示する個人および団体の利用受付業務、展示指導を行う。
- 2 千住博展では、美術ホール（県民ギャラリー）と展示室を一体的に展覧会会場として機能させる。
- 3 美術ホール（県民ギャラリー）と展示室あわせての鑑賞を促進する。

Ⅴ売店事業

藤田作品の理解を深めるため、インターネットでの《秋田の行事》の額絵販売を行う。
秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者へ絵はがき等の販売を委託する。